

北中校内研修だより (2年・理科)

平成23年7月5日(火)
2年2組 教室 第2校時
授業者 浅香 武志

2年生で学習している「動物の世界」から、今回は「動物の分類」を学習した授業を紹介します。担当している1組～3組は、この日にすべて同じ内容で学習しました。

授業改善の視点

北中では授業の中に、教科の特性を生かした、「学び合いの活動」を効果的に取り入れて授業を展開しています。

○意欲的に学習に取り組める工夫。

- ・3分間で出来るだけ自分の知っている動物の数を挙げてみる。(授業導入の工夫)
- ・教師がどんどん分類してしまうことで、「なぜ、そう分けたのか？」と、観点を考えるようになる。

○思考力を高める！表現力を高める！そんな「学び合いの活動」を取り入れる。

- ・両生類とハ虫類の違いは何？と、みんなで考えながら、発表し合い、まとめていく。
- ・魚類、両生類、ハ虫類、鳥類、哺乳類、と並べた訳を、みんなで意見を出し合いながらまとめていく。

授業の流れ

簡単に授業の流れを説明します。

- ①3分間で自分の知っている動物名を挙げてみる。
- ②一人一動物名を発表し、それを教師が分類(6種類に分類)して、黒板に板書していく。
- ③「無セキツイ動物」を背骨の有無でまずは分類して、それを例にして、5種類のなかまに分類した観点を考えていく。

【学び合い活動1段階】

※課題に対する個人の意見や考えを持つ。

- ④班の中で意見を交流する。

【学び合い活動2段階】

※互いの意見や考えを交換し合い、教え合う中で自身の考えを深められる。

- ⑤班の意見を発表する。

【学び合い活動3段階】

※課題に対する自身の考えや意見をさらに深め、自らの学習に生かす。

- ⑥出された意見をみんなで吟味し合う。(これが、まさに「学び合い！」)
- ⑦魚類～哺乳類と並べた訳を発表し合う。(これも、まさに「学び合い！」)



授業を終えて… よかったところ

- 導入では、基本的に生徒達は「動物好き!?!」と思えるほどの白熱ぶり。3分間で50種以上の動物名を挙げる生徒もいました！この後の取り組みが意欲的だったのは言うまでもありません。
- 自分が発表する動物はどこに分類されるのか？ドキドキで見つめる生徒達。いつまでも書かれない両生類のコーナーを「カエル～!」「イモリなの？ヤモリなの？」「ウーパールーパー!」と、書かれた時は 歓喜の声が上がりました。
- 「学び合いの活動」が実に盛り上がりました。班の中でも「卵はどうだ?」「水中で生きられる?」「両生類って、水陸両方で生きられるってことじゃない?」と意見が飛び交いました。
- 班で発表された意見でも、他の班から「だってこんな動物もいるよ!」と、訂正をし合い、最終的に、みんなが納得する分類方法になりました。そこでは、単なる「発表会」ではなくて「学び合い」がきちんと成立した証でもありました。
- そして、最終目的は、「魚類・両生類・ハ虫類・鳥類・哺乳類」の並び順を突き止めること。とてもいい意見を出し合いました。「水中から陸上へ」「頭がよくなっていく」「からだが複雑になる」など、予想した以上の発想の柔らかさに驚かされました。最後には、「進化の方向」にたどり着き、「まだ、これから進化する可能性もあるよね。」「どんな動物に進化するんだ?」と、授業の内容までも、どんどん進化していく様子に、とても嬉しくなりました。生徒達の可能性は無限ですね。

